

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|          |          |
|----------|----------|
| 幼稚園・学校番号 | 1280414  |
| 施設名（園名等） | 八王子実践幼稚園 |

## 1 活動のテーマ

<テーマ>

感覚遊び「木製プレイタワー」

～五感や身体感覚を使って、様々な素材の感触、音、匂いなどを楽しむ遊び～

<テーマの設定理由>

砂場で裸足で砂を踏んだり、よく陽の当たる滑り台の斜面に触れ、「冷たい」「あったかい」等、温度や感触の違いを言葉で表現することが増え、様々なものに触れることを楽しみ、関心を抱いているように見受けられたため、このテーマに設定した。

## 2 活動スケジュール

- ・「どんな音がするかな」「どんなふうに動くかな」を問いとして設定する。
- ・木製からくり遊具、プレイタワーを設置する。
- ・手で直接触れ、木の感触を確かめ、安心して活動できるようにする。様々なパネルにおいて、個々の反応に応じて声掛けをし、使い方を一緒に考え、試しながら探究する。
- ・パネルの高さや種類を変え、子ども達の活動に変化を持たせる。
- ・様子はメモ、写真で記録し、職員間で共有する。
- ・感触を楽しむ様々な遊びを提供する。(寒天遊び・小麦粉粘土など)
- ・保護者にはホームページにて共有する。

### 3 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

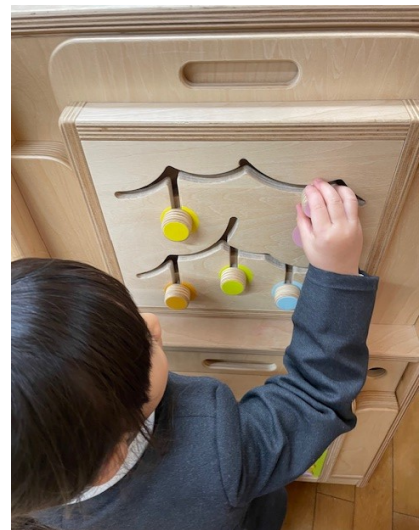
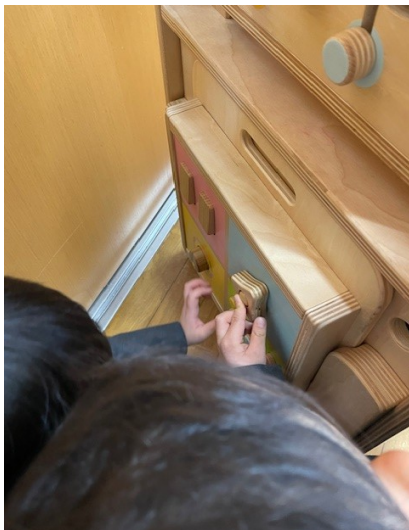
#### <環境設定>

##### ・木製プレイタワーの設置

からくり遊具で木の感触を確かめる。手先でなぞるように触ったり、顔につけたりしていた。視覚と動作を連動させ、遊具のコマの位置や動かす速さを微調整する様子が見られた。

##### ・寒天遊び・小麦粉粘土

感触・におい・温度などを、顔や手を使って確かめる。「わー冷たい」「ぷにゃぷにゃー」「のびるー」と感想を友だちと共有し、お店屋さんごっこなどの模倣遊びに発展していった。



### 4 振り返り

#### <振り返りによって得た先生の気づき>

普段、手にすることの多いプラスチック製の玩具とは異なる木の感触や温度を確かめていた。

ねらい通り玩具を操作するために、手先の感覚や視覚を研ぎ澄ませ、速さ、位置、強さなど、動作を調整する様子が見られた。長時間にわたり集中し取り組む姿もあった。新しい素材や感触に触れる経験は、「これは?」「なんだろう?」「どうして?」という探究心の刺激になったと考えられる。

また、感触を言語化し、友だちと共有することで遊びが発展し、コミュニケーションが活発になり、関係性が深まったように見受けられた。